

アメリカで、今でも母語としてドイツ語を話す人々



Amish country — horse and buggy

学習院大学ドイツ語圏文化学科模擬講義資料

担当：岡本 順治 2. August 2015

学習院大学西 5 号館 3 階 301 教室

(1) 11:00 ~ 11:45, (2) 14:00 ~ 14:45

1 17 世紀後半からのアメリカ移民

1.1 17 世紀後半とはどんな時代だったか？

17 世紀後半（1650 年頃から 1700 年頃）のヨーロッパは、三十年戦争（1618 ~ 1648）の影響を強く受けている。

1618 年-1648 年	三十年戦争
1648 年	<u>ウェストファリアの講和</u>
1661 年	ルイ 14 世親政
1683 年	トルコ軍ウィーン包囲
1688 年	イギリス名誉革命
1688-97 年	ファルツ戦争（ルイ 14 世ファルツに侵入）
1701 年	プロイセン公国、王国に昇格（フリードリヒ I 世）
1701 年	スペイン継承戦争（-1714）

ウェストファリアの講和 (1648)

- (1) フランスはアルザスの大部分を獲得
- (2) スウェーデンは西ポンメルン、ブレーメンなど北ドイツの要地を獲得
- (3) 神聖ローマ帝国の諸侯の領邦主権を確認
- (4) アウクスブルクの和議を再確認、これをカルバン派へも適用
- (5) スイス連邦、ネーデルランド共和国の独立を承認

三十年戦争 (1618-1648、場所：神聖ローマ帝国) とは何だったのか？

- (1) カトリックとプロテスタントの戦い
- (2) ハプスブルク家とブルボン家の戦い
- (3) 戦後、神聖ローマ帝国（⇒ドイツ）は荒廃

(1) カトリックとプロテスタントの戦い

カトリック・リーグ (Katholische Liga)	プロテスタント連合 (Protestantische Union)
ローマ法王	スウェーデン (グスタフ 2 世)
神聖ローマ帝国皇帝 (ベーメン王、フェルディナント 2 世) (+ヴァレンシュタイン)	デンマーク・ノルウェー (クリスティアン 4 世)
スペイン	オランダ、スイス
ポルトガル	プファルツ (フリードリヒ 3 世)
バイエルン	ザクセン、ブランデンブルク

(2) ハプスブルク家とブルボン家の戦い

- 1635年にはカトリック国フランスがプロテスタント国スウェーデンを支持して参戦
- ⇒ 宗教的対立から、ヨーロッパでの権力争いへ変質
 - ⇒ 戦争で勝利したルイ 14 世（ブルボン家）のフランスは絶対主義王政を確立
 - ⇒ 戦禍で荒らされた神聖ローマ帝国（ハプスブルク家）は、諸侯分裂状態のままに皇帝の権限は弱まる。

(3) 戦後、神聖ローマ帝国（⇒ ドイツ）は荒廃

- 「ドイツは主たる戦場になったために、被害は大きく、16 世紀には 1200 万人から 1500 万人に増加していたのに、17 世紀には 1000 万人ないし 1200 万人に減少したのである。」阿部謹也 (1998:145) [Heinz Schilling の推計]
- 「この 30 年戦争は、各国が主権国家の立場で戦ったものであり、初の本格的な『国際戦争』と言えます。」福村国春 (2014:59)

17 世紀後半とは？

4 世紀末16 世紀 中世
14 世紀16 世紀 ルネッサンス
16 世紀 宗教改革
15 世紀 ... 17 世紀 大航海時代
16 世紀 18 世紀 絶対主義
17 世紀 ... 18 世紀 市民革命

1.2 なぜアメリカへ移民していったのか？

- 大航海時代（15 世紀～17 世紀）ポルトガル、スペイン、オランダの人々が船で世界中へ出ていくようになる。
- 「新大陸」の発見 — ポルトガルに雇われブラジルの海岸を探索したアメリゴ・ヴェスプッチ (Amerigo Vespucci; 1454-1512) が旅行記を書いていて、そこから「新大陸」の発見者と見なされた。

アメリカへ移民する理由は？（背景）

- (1) 新世界での一攫千金を狙う。
- (2) 旧世界（ヨーロッパ）から新世界へ逃げる。

1.3 アメリカへ移民していったドイツ系の人々

- (1) 2009 年、アメリカに定住するドイツ系移民の数は、およそ 5000 万人と言われている。
出典：Census 2009 ACS Ancestry estimates (<http://factfinder.census.gov/>)
- (2) 2010 年の統計では、ドイツ語を母語として今でも話している人の数は、アメリカ国内でおよそ 11 万 8,000 人、カナダを含めるとおよそ 13 万人。出典：Pennsylvania German at Ethnologue (18th ed., 2015) (<http://www.ethnologue.com/language/pdc>)
ただし、Keiser (2012) によると 35 万人。

1.4 ドイツ語を母語とする人々というのはどこから来たのか？

17世紀後半からアメリカへ移民していったドイツ語を母語とする人々は、以下の場所から主にやって来た。

- ドイツ南西部（ライン川左岸地域）（マインツ、ザールブリュケン、カールスルーエを結ぶ三角形の地域）
- エルザス・ロートリンゲン（アルザス・ロレーヌ）の一部
- スイスの一部

2 キリスト教再洗礼派の人々（メノナイト、アーミッシュ）

3つの疑問

- (1) 再洗礼派とはどのような人々か？
- (2) なぜ再洗礼派の人々はアメリカへ行ったか？
- (3) 再洗礼派の人々はどのような暮らしをしているのか？

2.1 再洗礼派とはどのような人々か？

再洗礼派

- 原語はギリシア語 anabaptizō に由来し、「再洗礼をする」意味。
- 宗教改革の時代、非自覚的な幼児洗礼を非聖書的とみなして、洗礼志願者にあらためて洗礼を施したプロテスタントの一宗派に与えられた通称。
- この派は種々に分かれるが、自覚的な信仰告白ののちに行われる洗礼こそ唯一の洗礼と主張して、プロテスタントの最左翼に位置した。

出典：『ブリタニカ国際大百科事典』

せんれい【洗礼】

キリスト教で、信者になるための儀式。全身を水にひたす浸礼、頭部に水を注ぐ灌水、頭部に水滴をつける滴礼などがある。バプテスマ。

出典：『明鏡国語辞典』第二版、大修館書店。

メノナイト (Mennonites)

再洗礼派の流れをくむプロテスタントの一派。オランダのメノー=シモンズ Menno Simons(1492-1559) が創始。平和主義と無抵抗を主張。北アメリカに信徒が多い。メノー派。

出典：『デジタル大辞泉』小学館。

アーミッシュ (Amish)

プロテスタントのメノナイト派から独立した宗派。また、その信徒。スイスのアマン J. Ammann[1644 ころ～1730 ころ] が創始。アメリカ・カナダの農村に集団的に住み、規律に基づき電気・自動車などを使わない生活様式を守っている。

出典：『デジタル大辞泉』小学館。

2.2 なぜ再洗礼派の人々はアメリカへ行ったか？

宗教的迫害を受けたから。

Known as radical reformers, many Anabaptists paid dearly for tearing asunder the church-state fabric that had been woven together over the centuries. Thousands of them were tortured and killed by religious and civil authorities – burned at the stake, drowned in lakes and rivers, starved in prisons, or beheaded by the sword. Many Anabaptists fled to remote areas for safety. Stories of the bloody persecution are recorded in the *Martyrs Mirrior*, a 1,200-page book first compiled by Anabaptists in Holland in 1660. Kraybill & Hurd (2006:5ff), underlined by J.O.

Martyrs Mirrior は、再洗礼派の人々がいかに迫害を受けてきたかを記した書。初版は、1660年、オランダのティーレマン・J・ファン・ブラハト (Thieleman J. van Braght) によるもので、オランダ語で書かれたもの。1745年にドイツ語に訳され、1837年には英語に訳された。英語版のフルテキストは、<http://www.homecomers.org/mirror/contents.htm> (Martyrs Mirror: A Christian Book of Martyr Stories) から参照できる。再洗礼派の人々にとっては、聖書と並ぶ貴重な本であり、初版の図版もネット上で見ることができる。

2.3 再洗礼派の人々はどのような暮らしをしているのか？

北米大陸のどこに入植したか？

アメリカ — ペンシルバニア州南東部、バージニア州シェナンドア渓谷地区、メリーランド州、デラウェア州、オハイオ州、インディアナ州、ミシガン州、アイオワ州、カンザス州、オクラホマ州、フロリダ州

カナダ — オンタリオ州のパーズ郡、ウォータロー郡

本当に文明を拒否して生きているのか？

- 電気製品や車を使わずに生活をしているのは、Plain People (簡素派) と呼ばれる人たち。彼らは、Amish の中でも最も保守的な Old Order Amish と、Mennonite の中の保守派である Old Order Mennonites 彼らは、Pennsylvania German (ペンシルバニア・ドイツ語) を話す人口の 10% 未満と言われている。
長友雅美 (1999:107)
- Old Order Amish (古くからの秩序を守っているアーミッシュ) の人々の場合
Horse and Buggy 自動車を使わず、馬車を使う。
農業共同体の生活 協力して作物を作る、家を建てる (barn raising)
洗礼は大人になってから 洗礼を受ける前に外の世界を体験にでかけることが許されている。(Rumspringa) 戻ってきたら、共同体の中で暮らす。
古いドイツ語の聖書を読む：徹底した聖書主義 (左の頬を打たれたら右の頬を出す)
聖歌集アウスブント Ausbund を読みかつ唱和する。
昔ながらのレシピでケーキやジャムを作り、キルト等を作る。

3 ペンシルバニア・ドイツ語と言語文化

「ペンシルバニア・ドイツ語」(Pennsylvania Dutch) という表現

- (a) 定冠詞付きの場合、集合的にペンシルバニア在住のドイツ人。
ウィリアム・ペン(William Penn, 1644 ~ 1718)の約束の地「ペン(Penn)の森(silvania)」
に入植したドイツ系移民の末裔
- (b) 言語体系としてのペンシルバニア・ドイツ語(Pennsylvania German)
- (c) ペンシルバニアに住み、このドイツ語方言を使用する人々が育み伝承してきた民芸装飾
様式 出典：長友雅美(1999: 227)
注意：本当は、「ペンシルバニア」、「ペンシルベニア」ではなく「ペンシルヴェニア」

3.1 ペンシルバニア・ドイツ語の特徴

- (1) 現代ドイツ語と異なり、名詞の格は、1格と4格が常に同じ形で、2格がないので、実
質上は、2つの格の形しかない。
- (2) 名詞の性は男性、女性、中性と3つあり、現代ドイツ語と同じ。
- (3) 過去時制は、ほぼ無い(現代ドイツ語の sein に対応する動詞だけ、過去形がある)。
- (4) 接続法の形は1つしかなく、間接話法の時も、非現実話法の時も同じものを使う。
- (5) 代名詞には、強形と弱形の区別がある。
参照：Haag(1994)

3.2 ペンシルバニア・ドイツ語の実例

- (1) Er iss der Bruder. (英語：He is the brother.)
- (2) Se iss die Schweschder. (英語：She is the sister.)
er の強形は aer、se の強形は sie
- (3) Sell iss es Buch. (標準的なドイツ語：Es ist das Buch.)
- (4) Mer gewwe de Kinner die Bicher. (We give the children the books.)
- (5) Guder Daag. ⇒ Guten Tag. (Good Day.)
- (6) Guder Mariye. ⇒
- (7) Guder Nummidaag. ⇒
- (8) Guder Owed. ⇒
- (9) Guti Nacht ⇒
- (10) Mach ' s gut. ⇒
- (11) Sehn dich schpeeder. ⇒

3.3 ペンシルバニア・ドイツ語の言語文化

- 地域によって多様である。(移動があまりない。)
- 英語の語彙を取り入れている。(英語の文化との接触)
- 敬称の二人称は無い。
- 近年の若者は、英語も普通に話せるケースが多らしい。
- ペンシルバニア・ドイツ語は、ドイツの200年から300年前の方言を部分的に保存して
いると言われている(プファルツ方言、アレマン方言、シュヴァーベン方言)

なぜ「簡素派」の人々は孤立してドイツ語を使い続けたのか？

- 移民の人々は、自分のルーツを大切にする。
- 自分の使う言葉は、自分のアイデンティティである。
- 閉じた社会での共同生活を守ったから。

4 まとめ

- 17世紀後半からアメリカへ渡った再洗礼派の人たちは、200年から300年経っても、ドイツ語を使い続けている人たちがいる。
- 彼らは、北米大陸全体で、今でも13万人から35万人ほどいるらしい。
- 彼らは、徹底したプロテスタントで、聖書を大事にする。
- 経済的には、農業共同体を営んでいる。
- 彼らのドイツ語は、現代ドイツ語に比べると簡略化されている部分があり、英語の語彙が混じっているが、古いドイツ語方言を保持しているらしい。

参考文献

- 阿部謹也 (1998) 『物語ドイツの歴史：ドイツ的とは何か』(中公新書) 中央公論新社 .
- 福村国春 (2014) 『歴史の見方がわかる世界史入門：いまにつながるヨーロッパ近現代史』ベレ出版 .
- Haag, Earl C. (1994) *A Pennsylvania German Reader and Grammar*. University Park and London: The Pennsylvania State University.
- Keiser, Steven Hartman (2012) *Pennsylvania German in the American Midwest*. Durham: Duke University Press.
- Kraybill, Donald B., Nolt, Steven M. & Weaver-Zercher, David L. (2002) *Amish Way: Patient Faith in a Perilous World*. San Francisco, CA: Jossey-Bass.
- Kraybill, Donald B. & Hurd, James P. (2006) *Horse-and-Buggy Mennonites: hoofbeats of humility in a postmodern world*. Pennsylvania: The Pennsylvania State Univ. Press.
- 菅原千代志 (2011) 『アーミッシュへの旅：私たちのなくした世界』ピラールプレス .
- 長友雅美 (1999) 「PG 言語文化育成運動とその研究動向」『国際文化研究科論集』東北大学、105-126.
- 長友雅美 (2004) 「ペンシルベニアドイツ語への誘い」川崎靖他編『ドイツ語学の諸相』225-243.

< YouTube の動画 >

- (1) WITNESS Trailer 「刑事ジョン・ブック」, 主演：ハリソン・フォード
<https://www.youtube.com/watch?v=DY3XnCyKAEU>
- (2) Amish -A Secret Life (BBC 2012)
<https://www.youtube.com/watch?v=KaBnmSyNxHE>
- (3) Inside the Amish Church (1 of 6)
<https://www.youtube.com/watch?v=wg81VwdRAVA>
- (4) PA Dutch 101: Video 2 -Greetings and Introductions.m4v
<https://www.youtube.com/watch?v=JavJs3R24hQ>
- (5) Meet the Amish 4 of 4 -Night club and pagan festival, Douglas Madenford
<https://www.youtube.com/watch?v=ekWFV6QZOM0>

< ペンシルベニア・ドイツ語の Wikipedia のトップページ >

<http://pdc.wikipedia.org/wiki/>